

第11回国際会議等の北海道開催の推進に係る各省庁連絡会議 議事概要

1. 日時：平成29年11月9日（木）14：00～14：55
2. 場所：中央合同庁舎2号館13階 北海道局局議室・第1会議室
3. 出席：〔省庁〕内閣官房、内閣府、公正取引委員会、警察庁、金融庁、消費者庁、総務省、公害等調整委員会、法務省、外務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、防衛省、人事院、会計検査院
〔北海道〕佐藤北海道総合政策部長、豊島北海道総合政策部次長、佐藤北海道総合政策部国際局長
〔札幌市〕森札幌市観光・MICE推進部長、奈良MICE推進担当係長
〔国土交通省北海道局〕田村局長、高橋参事官、山上企画調整官、草野開発専門官
〔国土交通省観光庁〕松浦観光渉外官
〔(独)国際観光振興機構〕影山コンベンション誘致部担当部長

4. 議事次第

(1) 開会

(2) 議事

- 1) 「国際会議等の北海道開催の推進に係る基本方針」の一部改正について
- 2) 向こう5年間の国際会議等の開催計画等について
- 3) MICEの誘致・開催の取組について（観光庁）
- 4) 国際会議等各種会議の北海道開催推進に係る取組について
（(独)国際観光振興機構）
- 5) 北海道における国際会議等誘致の取組と現況について（北海道）
- 6) 札幌市における国際会議等誘致の取組と現況について（札幌市）
- 7) その他

(3) 閉会

5. 議事及び主な発言内容等

- 1) 「国際会議等の北海道開催の推進に係る基本方針」の一部改正について
＜資料2-1、2-2について事務局より説明。＞
・平成29年3月の「観光立国推進基本計画」の閣議決定、平成29年6月の「未来投資戦略2017」の閣議決定を踏まえ、改正案を提案する。
＜改正について異議無く了承。平成29年11月9日付けで改正。＞
- 2) 向こう5年間の国際会議等の開催計画等について
＜資料3-1、3-2について事務局より説明。＞
・平成28年度の国の機関等による国際会議等の北海道開催実績は3件であった。

- ・平成29年度以降、向こう5年間の開催計画について、平成29年度は3件開催済みで今後2件、平成31年度と33年度に各1件の開催が予定されている。
- ・日本国内における開催地が未定の会議について、今後、北海道開催を積極的に検討していただきたい。

3) MICEの誘致・開催の取組について（観光庁）

＜資料4について観光庁より説明。＞

- ・MICEとは、ミーティング(M)、インセンティブ(I)、コンベンション(C)、エキシビジョン・イベント(E)の総称であり、観光庁はMICEの誘致・開催を推進するために様々な施策を展開している。
- ・日本での国際会議開催件数は、直近10年で315件から410件に増加しているが、昨年は中国と同件数で国別では7位であった。都市別では日本で最も多い東京で21位、札幌は152位であり、まだまだ上位の都市が存在する。
- ・昨年12月に、「明日の日本を支える観光ビジョン」に基づき、MICE推進関係府省連絡会議を立ち上げており、現在は、今年度内に「関係府省MICE推進アクションプラン」を取りまとめるべく調整を進めている。
- ・有識者による「MICE国際競争力強化委員会の中間取りまとめ」も今年の夏に策定されている。
- ・これらの一環として、11月2日に「グローバルMICE都市・都市力強化対策本部」を立ち上げ、各都市間の情報共有・課題抽出の場を設けることにより、各都市のMICE競争力強化を図ることとしている。

4) 国際会議等各種会議の北海道開催推進に係る取組について

((独) 国際観光振興機構)

＜資料5について(独) 国際観光振興機構より説明。＞

- ・訪日プロモーションの戦略的高度化に向け、今年10月にデジタルマーケティング室を新設した。情報発信基盤の整備、データの収集・分析、デジタルテクノロジーによる海外への情報発信、デジタルプロモーションを強化していく。
- ・多様な魅力の対外発信強化に向け、今年9月に訪日外国人旅行者向け観光情報アプリ「Japan.Official Travel App」の提供を開始した。緊急時に必要な情報を提供すると共に、全国の観光情報を発信することで地方誘客にも寄与すると考えている。是非、外国人観光客のダウンロード促進に御協力願いたい。
- ・地方創生への貢献に向け、今年9月に地域向け窓口「地域プロモーション連携室」を立ち上げた。各地域の皆様と緊密な情報交換を行うことにより、地域における訪日インバウンドプロモーションを強化していく。
- ・MICE誘致アンバサダーとして学会関係者等を認定し、誘致活動を支援している。全国で52名だが、北海道にはまだいないので、是非とも推薦願いたい。
- ・海外MICE見本市への出展、海外MICEセミナー・商談会の開催などにも取り組んでおり、札幌コンベンションビューローにも参加いただいている。
- ・北海道へのMICE誘致の成功事例としては、オールジャパン体制で30年ぶ

りに日本開催が決定した第34回国際電波科学連合総会（2023年 札幌）や、第29回低温物理学国際会議（2020年 札幌）がある。

5) 北海道における国際会議等誘致の取組と現況について（北海道）

<資料6に基づき北海道から説明。>

- ・北海道では、北海道洞爺湖サミット以降、様々な政府系国際会議を開催いただいているが、今後としては2019年にG20サミットの日本開催が決定しており、北海道への誘致に向けて取り組んでいる。
- ・北海道での国際会議開催件数は安定的に推移しており、訪日外国人来道者数は平成28年度に230万人と、順調に伸びてきている。
- ・新千歳空港－ソウル間は週55便あり、その他北京や上海とも直行便がある。また、函館空港や旭川空港にも直行便があり、成田・羽田からの乗換ではなく、直接来道することも可能となっている。
- ・昨年3月に北海道新幹線が開業し、東京－新函館北斗間が1日10往復、最短4時間2分で結ばれており、輸送手段の拡充も図られている。
- ・北海道には、一昨年オープンした函館アリーナなど、様々なコンベンション施設があるとともに、モエレ沼公園ガラスのピラミッド、北海道博物館などのユニークベニューが存在し、2020年4月には民族共生象徴空間もオープンする予定となっている。これらを活用した国際会議開催を御検討いただきたい。
- ・開催支援としては、北海道MICE誘致推進協議会を設立し、サポート体制を構築しており、今年新たに帯広市と（一社）帯広観光コンベンション協会が加わっている。また、民間主催の会議を対象に北海道コンベンション誘致促進助成金も設けている。
- ・2018年は、北海道と命名されてから150年目という節目を迎え、様々なイベント開催を予定しており、この機会に国際会議等を通じて海外のお客様をお迎えし、我が国の観光先進国の実現に寄与してまいりたいと考えている。各省庁におかれては、北海道での国際会議開催を御検討いただきたい。

6) 札幌市における国際会議等誘致の取組と現況について（札幌市）

<資料7に基づき札幌市から説明。>

- ・2015年に「札幌MICE総合戦略」を策定し、MICE誘致の取組を推進しており、重点誘致ターゲットの一つとして政府系国際会議を掲げている。
- ・札幌コンベンションビューローによる見本市等でのセールスを行うとともに、2015年に観光庁からグローバルMICE強化都市に選定されたことから、国とも連携しながらMICE誘致力を強化している。
- ・開催支援としては、市民ボランティアによるガイド等は高い評価を得ている。また、今年度より、コンベンション誘致促進助成金の予算を拡充したと共に、コンベンションシャトルバス助成金を新設した。さらに、札幌の多彩な観光資源を活用したユニークベニューも提供している。
- ・主に札幌コンベンションセンター、北海道大学、西11丁目エリアの三つのエ

- リアで国際会議等が開催されており、会議規模に応じた会議施設を有している。
- 市内のホテルのほとんどが市中心部にコンパクトに集積し利便性が高く、ハイグレードからリーズナブルまで多様な宿泊施設、機能を有している。
 - 札幌市では「さっぽろMICE推進委員会」を設立し、官民連携による推進体制を構築しており、今年新たに北海道大学が加わっている。各省庁におかれては、札幌市での国際会議開催を御検討いただきたい。

以上

(速報のため、事後修正の可能性があります。)